

第3回 第2期西東京市文化財保存・活用計画策定懇談会会議録

会議の名称	第3回 第2期西東京市文化財保存・活用計画策定懇談会
開催日時	令和5年12月6日(水) 13:30～15:30
開催場所	西東京市役所 田無庁舎5階 502会議室
出席者	(委員) 入井委員、加藤委員、鈴木委員、都築委員、瀧島委員、小野委員、 青木委員、濱崎委員、古山委員、矢野委員 (事務局) 西東京市社会教育課 吉田課長、森主係長、亀田学芸員、川野主任 ランドブレイン株式会社 宮脇、宇井、花井
欠席者	長谷川委員
議題	1 開会 2 確認事項 (1) 前回議事録の確認 (2) 第2期西東京市文化財保存・活用計画検討の流れ (3) ワークショップ実施状況について (4) ヒアリング調査の実施状況について 3 協議事項1 素案の作成状況について(第1章～第5章まで) 4 協議事項2 素案の作成状況について(第6章～第7章について)
会議資料	資料1 西東京市文化財第2回懇談会議事録 資料2 西東京市第2期文化財保存・活用計画の検討の流れ 資料3 ワークショップ実施概要 資料4-1 庁内ヒアリング結果 資料4-2 市民団体ヒアリング結果 資料5-1 第2期西東京市文化財保存活用計画(素案)(第1～5章) 資料5-2 第2期西東京市文化財保存活用計画(素案)(第6～7章) 資料6 アンケート報告書
会議内容	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
<p>○座長 2. 確認事項(1) 前回の議事録の確認について、委員から修正の連絡など入っているか。</p> <p>○事務局 入っていない。</p>	

○座長

本会議が終わりまでに気付いたことなどあれば、今週中にご連絡願います。

続いて、(2) 第2期西東京市文化財保存・活用計画の検討の流れ、(3) ワークショップ実施状況について、説明願います。

○事務局

(資料2、3について説明)

○座長

ご意見、ご質問はあるか。

また何かあれば、ご発言願います。続いて、(4) ヒアリング調査の実施状況について説明願います。

○事務局

(資料4-1、4-2について説明)

○座長

ご意見、ご質問はあるか。

では、次に協議事項1に移ります。

○事務局

(資料5 第1章について説明)

○座長

大切なことが書かれていると思う。広がっているため、集約できれば良い。ぱっとわかるインパクトが必要。

○委員

はじめのしーたとの一々の解説文は良いと思うが、中身とのトーンが異なり違和感がある。

集約したキーワードがでてくるのが良いと思う。

1ページ目消失の漢字は、焼失である。

○委員

3ページ、保護だけでなく活用も追加できれば良いと思う。

○事務局

6ページに記載している内容であり、言いたいことが散りばめられてしまっているため、保護は保存活用ということをはじめに記したい。

○委員

はじめの入りは興味が沸き、良くなったと思う。一方ですべてをこのトーンにするのは難しいとは思ふ。どの部分が市として重要としているのか、伝えたいことなのか、ぱっとわかるとよい。内容を変えないのであれば、文字の太さなど変えて、意図が伝わるとよいのではないか。地域総がかりとなったこと、保護(保存活用)をしっかりと強調する必要があると思う。

○委員

意図はよくわかった。冒頭のしーたとの一々の呼びかけが入り、計画は行政的なもの、大人が読むものであるため、全体の章からは外して、導入として、文化財に親しんでもらいたいと思ってもらえればよい。

地域総がかり、心の豊かさ、地域参加、サステナブルなどが国でも謳われている。国が言っていることを地域が従っている印象であるため、西東京市の取組みとして、市民主体であることなどが一貫して書ければよいと思う。市民を読むことを前提として書くのであれば、国の方向性を西東京市として落とし込んでいく、言い回しで工夫ができるかと思う。西東京市・市民が軸・中心となった図であればよい。

○座長

親しみやすさをどう表現するかは難しい。

では、第2章以降の説明をお願いします。

○事務局

(資料5 第2、3章について説明)

○座長

ご質問、ご意見はあるか。

○委員

下田半兵衛について、もう少し大きく記載した方がよいと考える。西東京市の特徴の一つである。

○事務局

10 ページ、19 ページにある。

○委員

もう少し加えてほしい。

○座長

西東京市が田無市と保谷市が合併したため、豊かな歴史文化を担うことになった特徴がある。合併した経緯（単に合併しただけではない）と、西東京市の豊かさを表現できれば、市民としてアイデンティティとして誇りを持てるのではないか。

○委員

多様な文化財が持っていることは内容として書かれているかと思うため、強調すればいいのではないか。

○委員

例えば、第2章の前段に考えを書くと埋もれないか。

○委員

9 ページにも前段の村の話が書かれている。著名な方など、田無だけでなく、保谷も同等に書ければよいのではないか。

○座長

第2章は言いたいことをバシッと言う必要がある。

○事務局

わかりやすくするよう、リード文など考えてみたい。

○座長

16 ページ関連文化財群①～⑥は以降のストーリー①～⑥と関連しているのか。関連性がわかりにくいため、ストーリー名称も記載した方がよいのではないか。

○委員

まず6つのストーリーを書いた方がわかりやすいのではないか。

今からの修正は難しいかと思うが、地図とストーリーが別々でまとめられているため、対で見られるとよい。

○委員

10 ページ東部とはどこか。小金井（サクラ）はカッコをつけるのか。田無村明治22年ではなく、12年か。

11 ページ田無駅間は前か。

○事務局

西部の間違いである。書きぶりとしてカッコが必要。12年、田無駅前のため、修正する。

産業は残しつつ、書き方を考える。産業として何を入れてあればよいか。

市の特徴を明確にする。歴史性をどう書けるか工夫したい。

○委員

シチズンやHOYAガラスか。

○委員

産業があって、町が活性化したことを書く。写真差し替えあるか。

○事務局

差し替えする。

○座長

18 ページ、下野谷遺跡など最新の情報を入れられればよい。

○事務局

（資料5 第4章について説明）

○委員

27 ページ 西東京市は市民運動が盛んであった。市民運動の結果、史跡指定になったことを記載してほしい。

指定文化財 28 番は市民の運動、資金を出して移築した。市民が文化財を守る意識が高い地域であることを記載してほしい。

○委員

市民の活動が活発であり、民俗学博物館では、外部の人類学者などを巻き込みお披露目した。他よりもポテンシャルとして示せる部分である。アンケートでも西東京市として市民活動の拠点となる、展望できることを触れておくとよいと思う。

保谷市・田無市の旧市への愛着もあり、繋いだからこそ見えてくることを文化財群で示せる。西東京市としての文化、それぞれの土地が育んできた地域性も魅力であることを、触れていくことも書き方としてうまく落とし込んでいければよい。

○委員

これまで実施してきたことの成果をしっかりと書いた方がよい。課題に寄りがちだが、今まで推進したことの評価と、課題があることを両面で記載した方が、課題ばかりではなく成果を書くことで、誇れるものがあることを伝えていけるのではないか。

○座長

次に、協議事項 2 について説明をお願いします。

○事務局

(資料 5 第 5、6、7 章について説明)

基本理念を変更すべきか。

○座長

ご意見、ご質問はあるか。

3 ページに地域社会全体で歴史文化を守り、

○委員

基本理念は変更しなくてよいと考える。

43 ページはわかりやすい。

○委員

基本理念はぶれずに、変更しなくてよいと考える。

○座長

悪くはないが、時代の真ん中が抜けている印象である。

○委員

縄文は考古学の話で、縄文ともう一つ歴史的なものが入るといいのか。

○委員

西東京市を特徴付けるものとしては、下野谷遺跡であり、全国的に見ても重要なものである。特徴として縄文から続いているということで、抜けていると思わない。

○委員

変更はしなくていいと思う。

○事務局

理念を変えず、文章を少し変えられればと考える。
市民ができる取組みについて伺いたい。

○座長

ひばりが丘のテラス活用は市民が自主的にしていると思うので、取り上げられたらよい。

○委員

今行っている団体は、東久留米も入るのか。

○事務局

基本的には西東京市だと思う。

○座長

東大農場と連携し取組みも可能なのではないか

○委員

46 ページ、知る守活かすつなぐ創出するの目標と取組みを対応した方がいいのではないか。

○委員

取組みの方針の協議は、計画上の縛りはあるのか。第5章が5つの枠、第6章で6つの枠となっている。

○事務局

ない。課題、目標、取組みとするか。目標と方針を整理する。

○座長

市民が取組むものが挙がってきたらよい。

○委員

48 ページの取組に所管課が入っているが、主体について市民の中でも商店街など関わる人のイメージが書かれていたらよい。

○事務局

文化財の普及啓発では、市民がどのようなことが実施できるか。

○座長

情報を受け取る体制ができていない

○委員

市民主体でリーフレット作成などできる。市として実施してほしいとするのか、現状に追従して記載するのかで違う。

○事務局

今後、実施してほしいものを記載したい。取組主体の表現についてはわかりやすくするように考える。

市民が参画できるものを各1つずつくらいは入れたい。

○座長

下野谷遺跡のモデルについて、公開の場、ガイダンスについて記載があるとよい。

○委員

下野谷のモデル以外に候補はあるか。

○事務局

候補を含めて、文化財保存活用区域を今後考えていけると理想である。

屋敷林などがあげられるか。

○委員

市民が参加できるものとして、市民文化祭でオープニングイベントを実施した際に文化財のビデオを流したりした。そのように市民主催のイベントに参加できるといいと思う。

小学生など〇〇博士などあるが、人材を育てることも深めていければ、若い人に伝わると考える。

○座長

市民が主体的に動いてもらえることが一番重要なことである。

○委員

市民から湧き上がってくる新しい取組がある。新しい発想ででてくるため、あまり枠を決めない方がいいと思う。

○座長

市民の意見を拾い上げることが必要である。

○事務局

本日の内容を含め、素案を作成し、パブリックコメントを実施する。12月8日が期日のため、明日15時までにご意見をいただきたい。それ以降は、随時完成までの修正を行う。

《閉会》